

甲府中学・甲府一高同窓生の皆様へ2022懇親会の趣旨説明

先輩、山梨を離れてどれだけの歳月が経ちましたか？私たち58年卒は間もなく40年になろうとしています。山梨で暮らした歳月よりも、こっちにいる年月が圧倒的に長くなりました。でも、山梨で生まれ育ち、一高で学んだ記憶は色褪せることもなく、逆に輝きを増しています。あの多感な時期の想いは、ここまで走ってきた私たちの原点ではないかと思うからです。その原点を、再認識する場が甲府中学・甲府一高東京同窓会です。ここ2年、コロナ禍で懇親会の開催はままなりませんでしたが、今年は必ず開催すると腹を括りました。ここで行わないと、後輩たちに東京同窓会の認識は薄れ、幹事を引き継ぐ人間もいなくなります。事実、3年前京王プラザホテルで行われた同窓会では出席者489名に対し、40代以下の参加者は13名でした。コロナとこの状況をなんとか食い止めたいという思いのもと、今回の懇親会は企画しています。思いの丈を示します。

■テーマ「未来 first～絆という宝もんを胸にがんばるじゃんけ～」

・今回の最大のテーマは、絆の構築です。同窓会に来れば、懐かしの同窓生と、旧交を温める事が定番だったと思います。今回は、その「ヨコの絆」に、これまでなかった「タテの絆」を加えたいと考えています。以下その企画案です。

▼企画①「先輩、私と名刺交換してください」・・名刺交換イベント

・今回出席する同窓生の若手世代が、先輩たちのテーブルを回り、名刺交換させて頂きます。

もちろん密にならないように配慮しながら、名刺交換いたします。どうぞ、30枚ほどの名刺をお持ち帰りいただき、その名刺から新たにできた「子供」なのか「孫」なのかの頑張っている人生に思いを馳せてください。そこから新たな絆が生まれることを期待します。

▼企画②「100人の声」・・テーマ・この2年間頑張ってきたこと

・記念誌日新鐘と、懇親会の共同企画として、できるだけ多くの同窓生が参加できる同窓会にしようと、100人を目標に「この2年間頑張ってきたこと」という投稿を募集しました。

それと同じ趣旨で、30秒ほどの動画で「頑張ってきたこと」も募集しています。

この動画を見れば、いろんな世代が、それぞれの場所で頑張っていることが再認識でき、「タテの絆」の構築につながると考えています。

▼企画③「平成の会（仮称）」結成

・未来の東京同窓会の担い手をどうするか？は喫緊の課題です。そこで今年は、平成卒の同窓生をできるだけ多く集め、平成世代の組織的な構築を計画しています。いわば東京同窓会の「青年部」とお考え下さい。その世代が前後2、3年の世代と交流することを促進し、東京同窓会の安定運用に貢献する企画です。

■京王プラザホテルにおけるコロナ対策について

▼今回の会場は、京王プラザホテルです。会場は、コンコードボールルームという最大の会場で、収容人数は1000人以上可能な宴会場です。

▼受付には、顔面認証などによる体温測定も実施するとともに、アルコール消毒等も場内に何箇所も設置、参加者の感染対策も促します。また、QRコードでの座席表も検討中で、受付での混雑状態を作ることなく、スムーズな誘導に配慮します。

▼座席は、これまでのようなバイキング形式ではなく、10人掛けの円卓に6人掛けで座り総出席者数450人を想定。料理を取りに行くときにできていた密状態などはできることなく会場内でソーシャルディスタンスの環境を最大限に作ります。

▼もちろん、座席と座席の間にはアクリルボードを設置します。

▼京王プラザホテルの宴会場は、10分に一回換気されるシステムが導入されており、コロナ対策の世界最大級の検査機関「ヒューロベリタス」で、セーフガードラベルを取得しています。安全への配慮はなされているかと思えます。

以上、2022年東京同窓会への想いです。是非先輩方、この趣旨にご賛同いただき、稚拙な後輩に、正しい筋道を、ご参加表明というご褒美をいただけませんか。伏してお願いする次第です。

文責・懇親会部会長 佐藤公彦